

2021年3月26日

合成エタノールの生産・販売終了および発酵エタノールの蒸留受託について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、この度、三重事業所（所在地：三重県四日市市）の合成エタノール製造設備について、2022年2月を目途に停止し同製品の生産・販売を終了します。併せて、日本アルコール販売株式会社（本社：東京都中央区、社長：雨貝 二郎、以下「アル販社」）より発酵エタノールの蒸留業務を2022年4月から受託することとしましたのでお知らせします。

当社の合成エタノール事業をとりまく環境は、生産設備の老朽化による修繕費の増加等により厳しい状況が続いています。このような環境下、合理化によるコスト削減等により競争力の維持に努めてきましたが、同設備による生産を継続していくことは難しいとの判断に至りました。同設備の停止により、当社は合成エタノールの生産・販売を終了し、工業用エタノール事業から撤退することになります。一方で、感染症対策として消毒の用途に使用されるなど工業用エタノールの需要が堅調に推移していることを踏まえ、当社は三重事業所において既存の蒸留設備を使用し、発酵エタノールを販売するアル販社から蒸留業務を受託することとしました。

当社は、三菱ケミカルホールディングスグループの中期経営計画に基づきポートフォリオマネジメントの強化に取り組んでいます。今般、合成エタノール事業の撤退もその一環として捉え、全体の生産性の更なる最適化を進めるとともに、総合化学メーカーとして、感染症対策に関連する製品の供給を通して社会に貢献してまいります。

【停止する設備の概要】

所在地 : 三重県四日市市（当社三重事業所内）
操業開始時期 : 1972年
製造製品 : 合成エタノール
製品の主な用途 : 溶剤、洗剤、化粧品、医薬品等の原料
生産能力 : 5万5千kl/年
停止時期（予定） : 2022年2月

以上

お問合せ先
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室
TEL 03-6748-7140